

画像診断には古くから「サイン」というものが存在します。

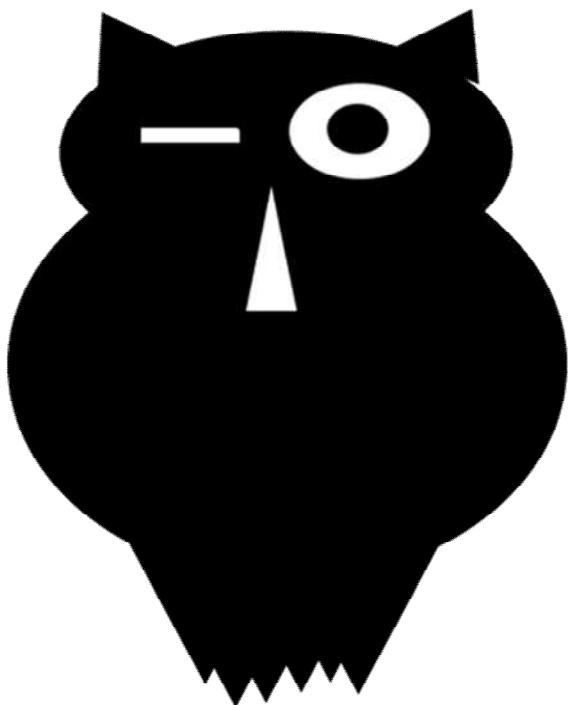
画像の中に見える形を生き物や身近な物体に例え、画像所見を記憶するための足掛かりになっています。

今回はその中でも動物に例えられた「サイン」を紹介します。

Q. ○○○に入る言葉はなにかな??

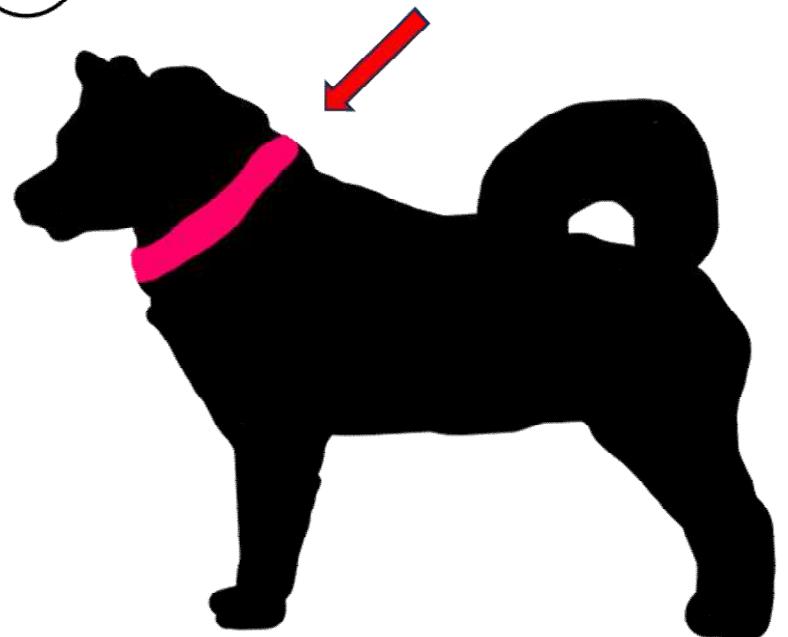
ヒントは ← の部分!

①



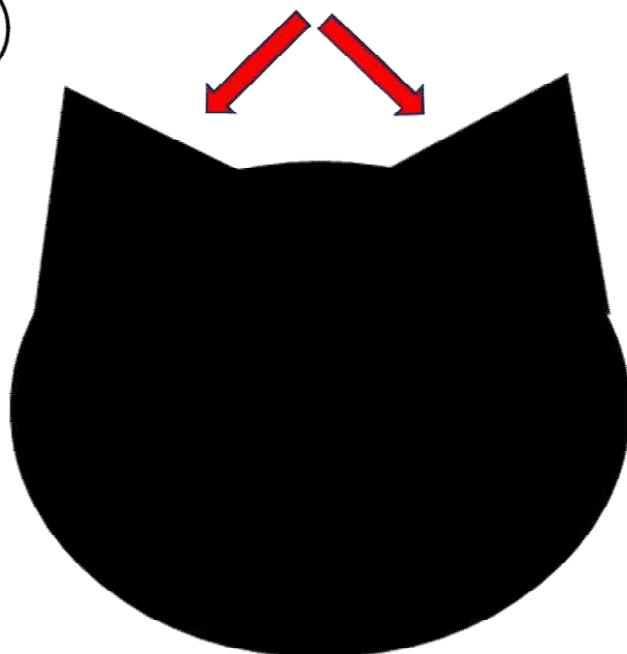
ウィンキング○○○サイン

②



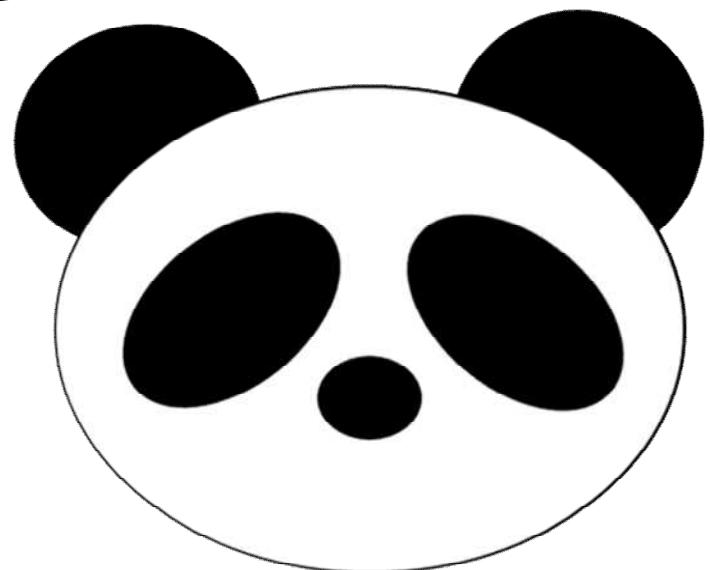
スコッチテリアの○○○

③



ドッグ○○○サイン

④



フェイスオブ
ジャイアント○○○サイン

スコッチテリアの首輪

腰椎(腰の骨)を斜めに撮影すると犬のシルエットが浮かび上がります。(図1) 正常の場合、ただの犬のシルエットなのですが、異常がある場合、犬のシルエットの首部分に影が付きます。

腰椎の関節突起間部にストレスが繰り返し加わると疲労骨折が発生します。

骨折部くっつかず、偽関節という離れた状態になります。(←部分) これは「腰椎分離症」というスポーツ経験者に多く見られる疾患です。

このとき離れている部分が首輪のように映し出されるため「スコッチテリアの首輪」といいます。(図4)



図1. 腰椎レントゲン

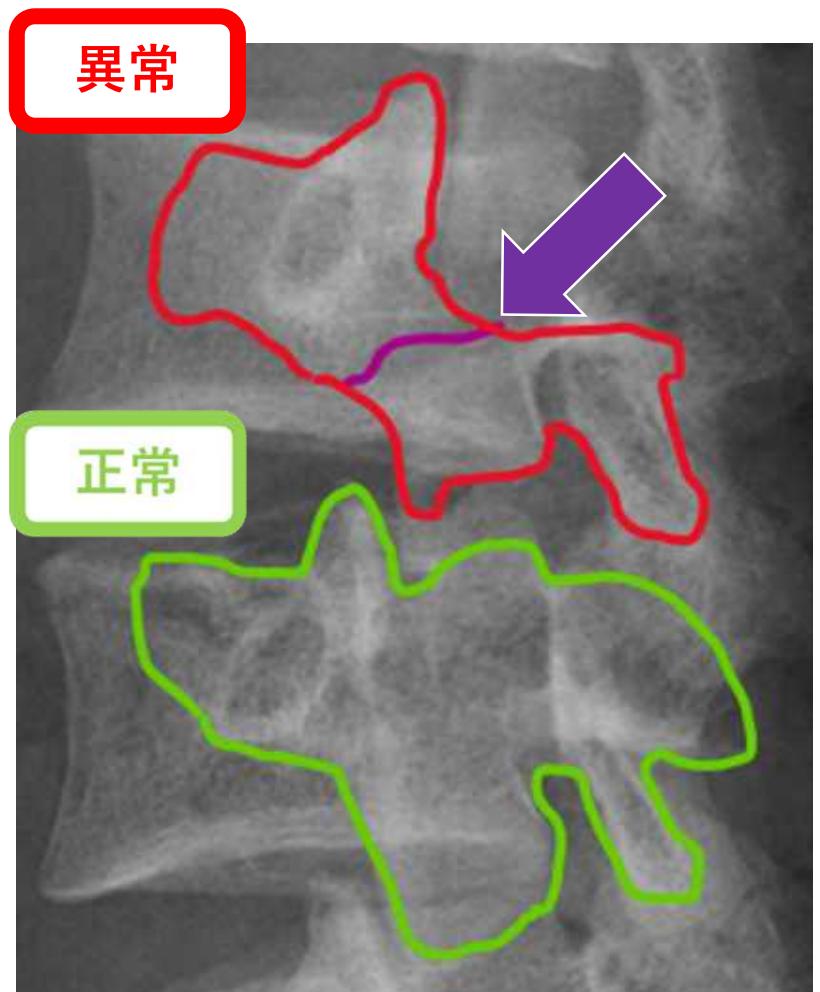


図2. 正常と異常



図3. 実際のスコティッシュテリア

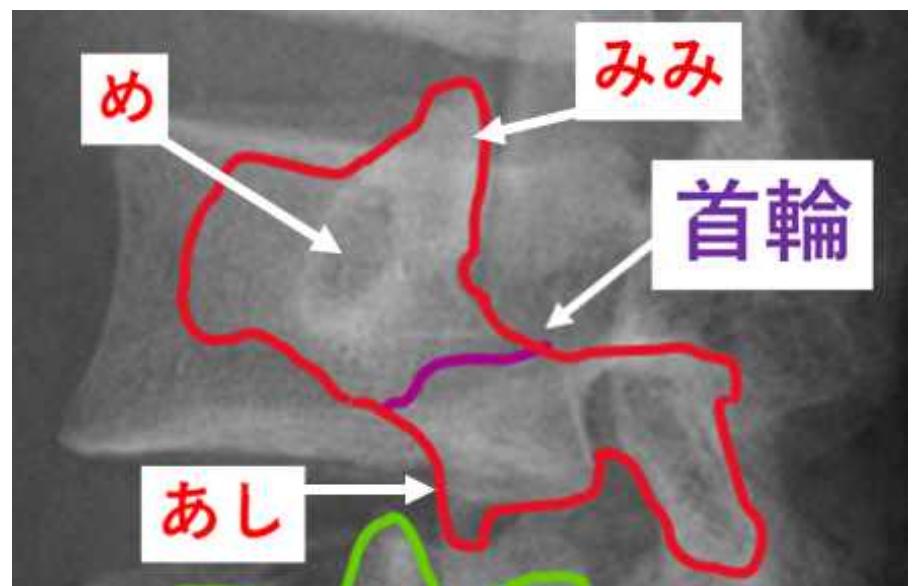


図4. シェーマ

ウィンキング オウル サイン

消失した椎弓根を閉じた目に、
対側の椎弓根は丸く開いた目、棘突起をくちばしに見立て
あたかもフクロウがウィンクしている様子を表現しています。

このサインは胸椎や腰椎の椎弓根が消失したときにみられます。
写真は骨破壊によって椎弓根が消失しています。
椎弓根の破壊は、骨転移や脊柱管内悪性腫瘍などの疾患で起こります。

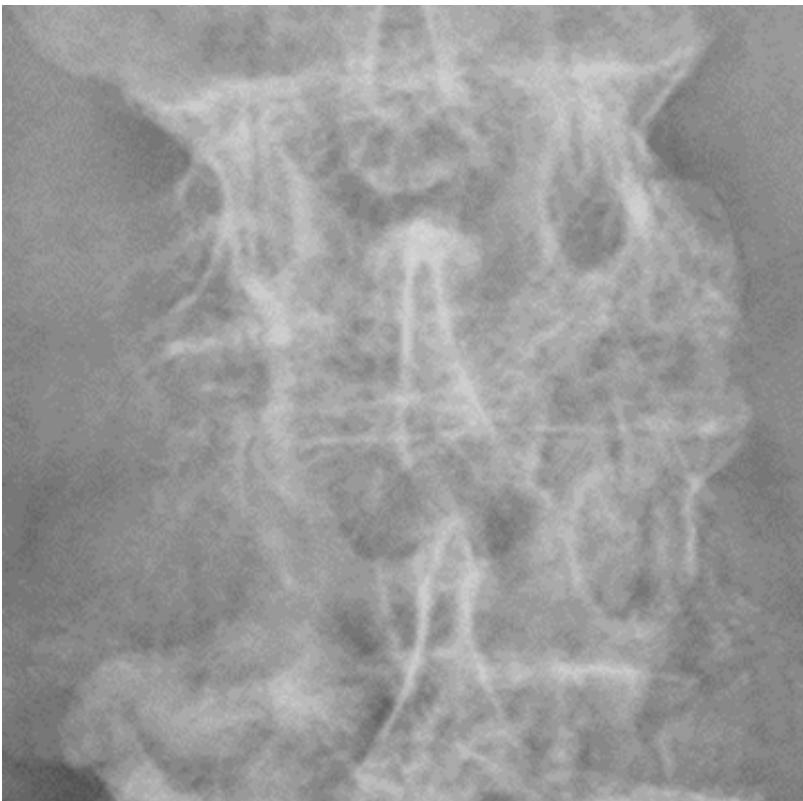


図1. 腰椎レントゲン

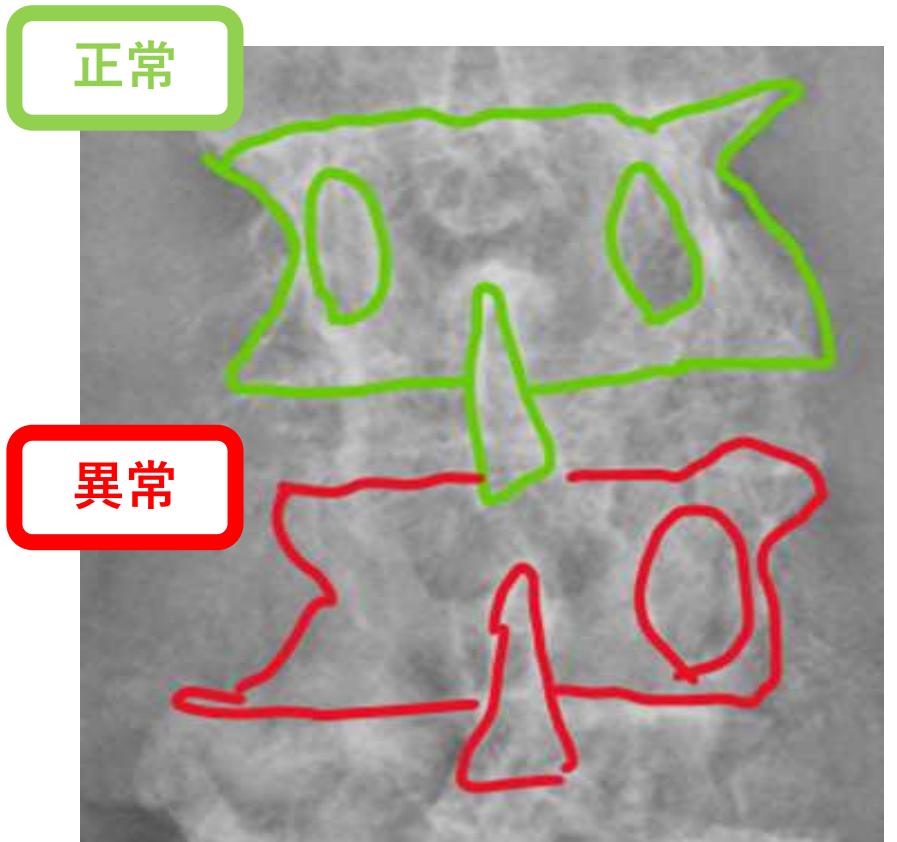


図2. 正常と異常



図3. ウィンクするフクロウ

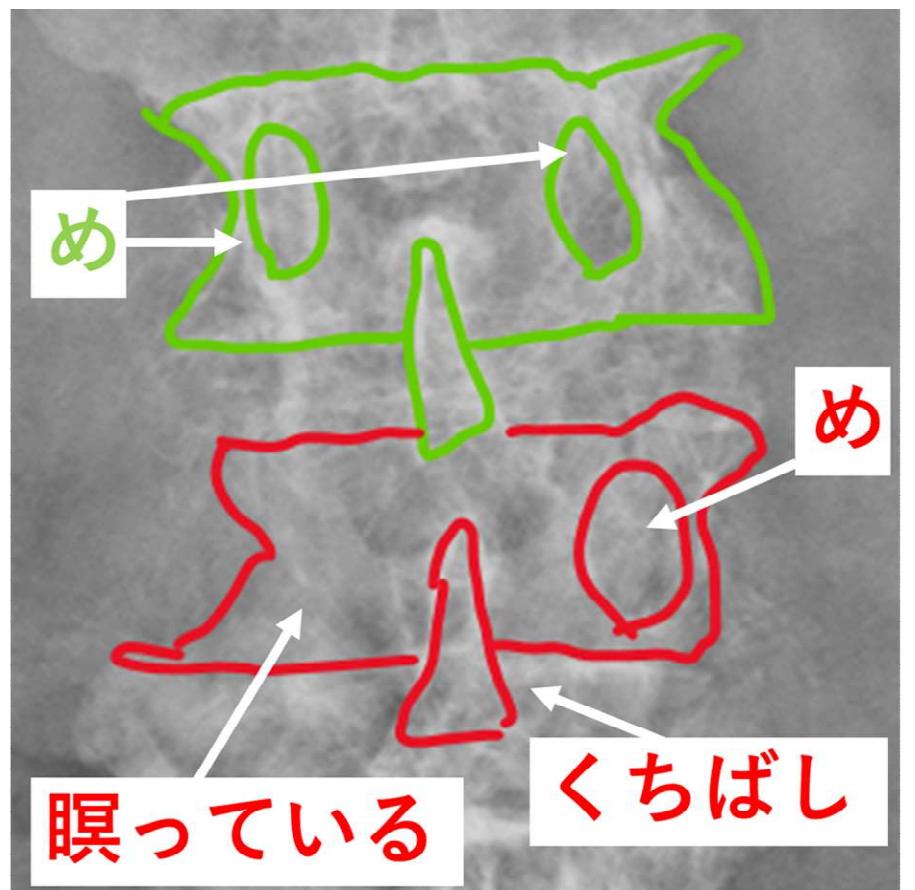


図4. シェーマ